



平成 17 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社テー・オー・ダブリュー  
代 表 者 名 代表取締役社長 川村 治  
( JASDAQ・コード 4767 )  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 取締役管理部長 武田 克実  
電 話 03 - 3502 - 8887

### 平成 1 7 年 6 月期中間 ( 連結 ・ 単独 ) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 1 7 年 6 月期中間期 ( 平成 1 6 年 7 月 1 日 ~ 平成 1 6 年 1 2 月 3 1 日 ) の業績予想について、平成 1 6 年 8 月 9 日付当社「平成 1 6 年 6 月期決算短信 ( 連結 ) 」及び同日付当社「平成 1 6 年 6 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 1 . 平成 1 7 年 6 月期中間連結業績予想の修正等

( 1 ) 平成 1 7 年 6 月期中間期 ( 平成 1 6 年 7 月 1 日 ~ 平成 1 6 年 1 2 月 3 1 日 )

( 単位 : 百万円 )

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 ( A )	5,447	390	211
今回修正 ( B )	5,820	480	268
増減額 ( B - A )	372	89	56
増 減 率	6.8%	22.8%	26.5%

#### ( 2 ) 修正理由

売上高は、博覧会等の売上増などが寄与し当初予想比 372 百万円増の 5,820 百万円となる見込みであります。また、経常利益は、当初予想比 89 百万円増の 480 百万円、当中間純利益は当初予想比 56 百万円増の 268 百万円となる見込みであります。

しかしながら、経常利益においては、間接原価の配賦方法の変更により、人件費等の間接原価に係る未成イベント支出金が、50 百万円強増加する見込みであり、経常利益を押し上げる要因となっております。加えて、販管費の未消費が 30 百万円程度見込まれており、同様に経常利益を押し上げる要因となっております。

なお、通期の業績予想につきましては、現在鋭意検証中であり判明次第発表の予定であります。

(3) ご参考：前期の実績（平成15年7月1日～平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（7/1～12/31）	4,829	400	223
通期（7/1～6/30）	9,638	765	466

2. 平成17年6月期中間単独業績予想の修正等

(1) 平成17年6月期中間期（平成16年7月1日～平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	5,366	385	216
今回修正（B）	5,750	470	270
増減額（B - A）	384	85	54
増減率	7.2%	21.9%	24.9%

(2) 修正理由

売上高は、当初予想比 384 百万円増の 5,750 百万円となる見込みであります。また、経常利益は、当初予想比 85 百万円増の 470 百万円、当中間純利益は当初予想比 54 百万円増の 270 百万円となる見込みであります。

しかしながら、経常利益においては、間接原価の配賦方法の変更により、人件費等の間接原価に係る未成イベント支出金が、50 百万円強増加する見込みであり、経常利益を押し上げる要因となっております。加えて、販管費の未消費が 30 百万円程度見込まれており、同様に経常利益を押し上げる要因となっております。

なお、通期の業績予想につきましては、現在鋭意検証中であり判明次第発表の予定であります。

(3) ご参考：前期の実績（平成15年7月1日～平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（7/1～12/31）	4,815	416	244
通期（7/1～6/30）	9,599	761	474

以上